



# トンボ玉作り体験

エジプトやメソポタミア地方では、今から5,000年以上も前からガラスの生産が始まったといわれています。やがて、シルクロードなどの交易ルートを経て、我が国には弥生時代に中国大陸や朝鮮半島からガラスが伝わったとされています。

複数の色ガラスで模様を付けたトンボ玉は、山梨県内でも笛吹市平林2号墳などの後期古墳（6～7世紀）から発見されています。そんなガラスやトンボ玉の歴史や文化を学びながら、好きな模様のトンボ玉を時間内で可能な数だけ作成してお持ち帰りいただきます（通常3～5個程度作成できます）。



制作の様子



トンボ玉の制作見本（翡翠風・・・？）

- 日 時 令和3年6月26日(土)・27日(日)  
各日 1回目 9:30～11:00  
2回目 12:00～13:30  
3回目 14:00～15:30
- 場 所 風土記の丘研修センター実習室
- 募集定員 16歳以上の方 各回2名ずつ 計12名
- 参加費 1名1,800円（教材費・保険料:参加時にお支払いください）
- 申込方法 参加を希望するご本人が電話または来館にてお申込みください。  
定員になり次第締め切ります。
- 申込受付 令和3年5月26日(水)より受付開始
- 持ち物等 肌の露出の少ない安全な服装、エプロン等、マスク、
- 申込先 風土記の丘研修センター  
甲府市下向山町1271 電話055-266-5286  
休館日:月曜日

※新型コロナウイルス対策としてご自宅での検温とマスクの着用をお願いいたします。また感染状況によっては中止する場合があります。

■ ホームページ

山梨県立考古博物館

検索

